

機関番号：16101

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2009～2010

課題番号：21730626

研究課題名（和文） ドイツ近代教育・市民社会生成期における絵入り啓蒙書の
「身体＝メディア論」研究研究課題名（英文） The Study of Educational History on 'Body as Medium', focused
on the connection between the Picturebooks in German late
Enlightenment and the Formation of modern Education and Society.

研究代表者 弘田 陽介（HIROTA YOUSUKE）

徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アント・サイエンス研究部・助教

研究者番号：60440963

研究成果の概要（和文）：

本研究は、ドイツ市民社会および近代教育生成期を担った通俗的絵入り啓蒙書における身体をめぐる知見を、図像とテキスト、そして読者と書物の相互作用（メディア）という観点から分析するものであった。具体的には汎愛派教育家、教育学の父ペスタロッチ、観相学者ラヴァターなどの著作において図像が近代市民および教育者、子どもにどのように影響を及ぼしたのかを実証的に読み解き、近代教育のこれまで顧みられてこなかった端緒を教育哲学会やドイツの歴史的人間学雑誌で明らかにしたことが研究成果である。

研究成果の概要（英文）：

In this study of educational history, especially focused on the picturebooks 'Fibel' in German late Enlightenment, I have analyzed 'the Body as Medium' from the viewpoint of the communication between Picture and Text as well as between Reader and Book. As the subject on this research I selected the influential authors and educators in the late of 18. century, like 'Philanthropic educators', 'Father of Pedagogy' J.H.Pestalozzi and the famous Physiognomist J.K.Laveter. The central point of these analyzes is how the connection between the pictures and the texts worked to the modern citizens, the educators and their children on those days. As the result I showed several unknown startpoint of the German modern education in the papers of the magazine published by the Japanese Society for the Philosophy of Education and the German historical-anthropology magazine "Paragrana".

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,900,000	570,000	2,470,000

研究分野：教育学

科研費の分科・細目：教育学

キーワード：身体＝メディア論、ドイツ啓蒙教育学、ダニエル・ホドヴィエツキ、ヨハン・カスパー・ラヴァター、汎愛派教育学者、ペスタロッチ教育学、図像学、読書論

1. 研究開始当初の背景

教育学において、身体は主に体育学という固有の枠組みにおいて把握されてきた。しかし、研究代表者は、近代教育における身体の捉えられ方そのものが近代の人間諸学の体系性・生成過程に影響を及ぼしてきたのではないかと問いを立て、近代的な人間観、教育観、学問観が形作られる過程を領域横断的に辿る広義の身体教育・人間学の思想史研究を行うことを思い至った。

このような近代的な身体教育思想の誕生の地点を、M・フーコーらの研究に習い、印刷媒体や経済・流通のシステムが急速に展開した18世紀後半のヨーロッパ社会、特にドイツの後期啓蒙期に設定し、これまで顧みられてこなかった近代教育の根を掘り起こそうというのがこの研究開始の背景である。

また、研究代表者は大学院修士課程より、ドイツの哲学者カントの教育思想を研究してきた。だが、その教育思想は、カント独自の思想的構築物ではない。それが、時代の書籍・読書環境、そして身体が置かれた環境の変化と大いに関わっているものであることを研究代表者は、2007年の著作『近代の擬態／擬態の近代 カントというテキスト・身体・人間』（東京大学出版会）において明らかにしている。このような一連の研究から、カントのようなこれまで文献学的に研究蓄積が多い思想の背景となるような18世紀後半の近代の端緒となる「身体＝メディア」環境を把握したいという研究の関心が芽生えた。

2. 研究の目的

市民社会と身体をめぐる知の働きを、汎愛派教育学者やペスタロッチといったドイツ18世紀後半に注目を集めた教育学者の書物や、ラヴァターの観相学を軸とした当時の絵入り啓蒙書全般において検証し、その知が当時の人間観や教育観に対して有していたインパクトとその後の思想系譜を辿ることが本研究の主目的である。近代市民や子供が書物から得た知見を自らの身体に書き込み、またその知見を他者の身体から読み取っていくメカニズムは、現代のメディア・テクノロジー社会の中にもしっかりと根付いているが、本研究の目的はメディアとしての身体という視座から見えてくるヨーロッパ近代の端緒から、現在の私たちの教育・コミュニケーションのあり方、特に言えば日本の教育における人間の関係性に反省的に問いを向

けることまでを視野に入れている。すなわち18世紀後半からの200年以上の歴史的スパンの中で、人間の身体を読み、身体に知を書き込んでいくテクノロジーの展開を辿っていくという見通しを本研究はもっている。人間の身体のあり方を根本的に変容させつつある今日の先端医療や遺伝子工学、電子メディアまでを視野に入れ、この200年間を貫通する人間とテクノロジー、特に身体とその操作のあり方をめぐる議論の基盤を、近代市民社会生成の現場から抽出することこそが広い意味での本申請研究の目的である。その基盤において、テクノロジーのさらなる進展と対峙できるような身体＝メディア論としての教育の思想をどのように形にしていけるか、またドイツ思想を通し、日本の教育関係論をどのように新たに形にしていけるか、問いをさらに展開させていきたいと考えてきた。

3. 研究の方法

本研究の方法論的特色は、この市民社会と連動する身体を、読者と書物の間、もしくは書物におけるテキストと図像の間をつなぐ「メディア」として捉えることにある。研究代表者は、市民主体の外部をうごめく社会潮流と主体に属する身体を切り離して考えるのではなく、それらを書物を介して連動する一つの「身体＝メディア」として捉える研究手法を構想した。具体的な作業としては、絵入り啓蒙書から、読者の身体に働きかけるテキストと図像を抽出し、当時の人々によるそれらの受容のされ方を想定することで、言説と同時代の様々なジャンルの資料とを重層的に読み併せ、当時の市民主体が知を受肉する現場を探っていく。

近代の思想史において、身体は様々な科学や通俗的な人間論の文脈において捉えられ、それぞれの役割が規定されてきた。にもかかわらず、身体はまたどうしても捕まえることのできない、人間を超えた「自然」としても受けとめられる。このように身体をめぐる意味作用同士は相互に衝突し、矛盾を孕んだものであるが、その矛盾する身体を軸とする魂--身体、心--物体、理性--欲望、自己--他者などの二項対立的な概念装置は、様々な学問領域を横断し、それぞれの学問領域に具体的でありながらも普遍的に適用可能な知の働きを与えるものとなっている。研究代表者は、身体そのものを描く図像や身体や感情に訴えかける図像が多数載せられた教育学書・啓

蒙書が近代市民に身体をめぐる意味作用の複層性を自覚させ、身につけさせるこの時代の装置であったと考える。このような知を自らの身体に受肉させることで、近代の「人間」は自分のもっている言葉、感覚や経験の布置を変え、その人となりを変容させていく。このプロセスの分析を主にテキスト・絵画資料などにおいて行うことで、市民社会における近代的身体が多層的な意味作用をさらに深く解明し、現在の私たちの社会・教育における新たな身体観の形成のためのリソースを提示することこそが、本申請研究の学術的方法論であり、独自の特性であると言える。

4. 研究成果

2年間にわたって、書物や図像の収集・分析、また方法論の見直しを行いながら、本研究の核心となる18世紀後半の図像とテキストの相互作用および読者と書物の相互作用を考察してきた。研究代表者は論文や学会発表を通して、これまで未開拓であった教育思想史における身体＝メディア論を確立することに努めた。

後半の1年間の研究の対象として、教育家および通俗哲学者と並んで、18世紀後半の教育書・啓蒙書の図版を多く手がけた銅版画家D.ホドヴィエツキに焦点を合わせる事になった。彼の図像と、それに関わるテキストを網羅的に把握するために、21年度にはイギリスならびにドイツで、22年度もフランスとドイツでの現地調査を専門絵画館および博物館などで行った。数百枚にも及ぶ絵画の調査によって、特に図像の細部に込められた寓意や、絵画同士の連関をよりよく理解することができた。また同時代の教育者であり、幼児の言語教育の革新者と言われるH.シュテファニについても昨年の現地での調査を元に、子どもと母親をつなげるメディアとしての言語思想としての分析を続けている。

ホドヴィエツキやシュテファニら日本ではほとんど紹介されていない絵画家ならびに教育家の思想を対象にする本研究はまだ初期段階と言える。だが、彼らの思想を研究代表者がこれまで考察を続けてきた汎愛派やペスタロッチらの教育家の思想と重ね合わせる事によって、『教育哲学研究』の査読論文の執筆および学会発表が可能となった。その論文では、ドイツ後期啓蒙期の教育学のテキストにおける親子関係、とりわけ母子の結びつきを、「身体＝メディア」論の視座から研究することを試みた。後期啓蒙期の教育家が活躍した時代は、まさにドイツにおいて

「家庭」という概念が生まれた時代でもある。それゆえ、研究代表者は啓蒙教育学のテキストにおける母と子のつながりを、近代的な家庭形成を背景にして分析した。第一に、ここで啓蒙教育家が核家族における「母」に向けて、子どもの読本を書いたことに着目する。特にペスタロッチはこう述べている。母は世界と子どもの仲介者であると。そして、子どもは母との共鳴関係を通して、感覚や認識を得るというのである。最終的には、母はテキストの対話において、まさに子どもの身体を再構成する。汎愛派教育家カンペは、母と子の対話を描いているが、そこで母は、母と子の間にある身体を構成しようとしているのである。この母と子の身体の話は、啓蒙教育学のシナリオである。だが、実際に、1800年頃の現実の家庭における教育者であり読者である母によって、このシナリオは上演されるのである。そうして、母と子をめぐるテキストと実際の世界の往還が問題となってくる。二つの世界はメディアとしての母と子との間の身体において出会うのである。このドイツ啓蒙教育学の研究から、私はこの「身体＝メディア」論を近代教育学の新しい視座として示したが、それによって子どもの身体を個体ではなく、母と子との間のメディアとして把握することが可能となる。

教育哲学会における発表以外にも、ドイツの国際人間学雑誌“Paragrana”に日本におけるメディアとしての身体を紹介した論文を執筆した。日本独特の身体文化である「型」を教条論ではなく、世代間の教育および芸道における伝達の「メディア」であったことをドイツ近代的な教育思想を背景として論述している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

- ① 弘田陽介、「母と子の中で身体が生まれる --ドイツ啓蒙教育学における「身体＝メディア論」研究序説」、教育哲学会編『教育哲学研究』第101号、2010年、78-99頁、査読あり。
- ② Yosuke Hirota, et al. 'Die verborgenen Kräfte des Körpers und ihre Überlieferung durch Kata. Ein internationaler Workshop zur japanischen Körperkultur. (邦語タイトル「身体の秘められた力と型によるそ

の伝達 日本¹の身体文化についての国際
ワークショップ)’, herausgegeben von
Gunter Gebauer / Christopf
Wulf, "Paragrana"Bd.18-1,2010,281-30
3頁、査読なし。

〔学会発表〕(計2件)

- ① 弘田陽介、「図像とテキストから心が生ま
れる 18世紀後半ドイツ啓蒙教育学に
おける「身体=メディア」論 (2)」、
第53回教育哲学会 於 中央大学、
2010年10月16日～17日。
- ② 弘田陽介、「18世紀後半ドイツ啓蒙教育
学における「身体=メディア」論」、第
52回教育哲学会 於 名古屋大学、
2009年10月17日～18日。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

弘田 陽介 (HIROTA YOUSUKE)
徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・
サイエンス研究部・助教
研究者番号：60440963

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(2) 連携研究者

()

研究者番号：